

一年間のふりかえり

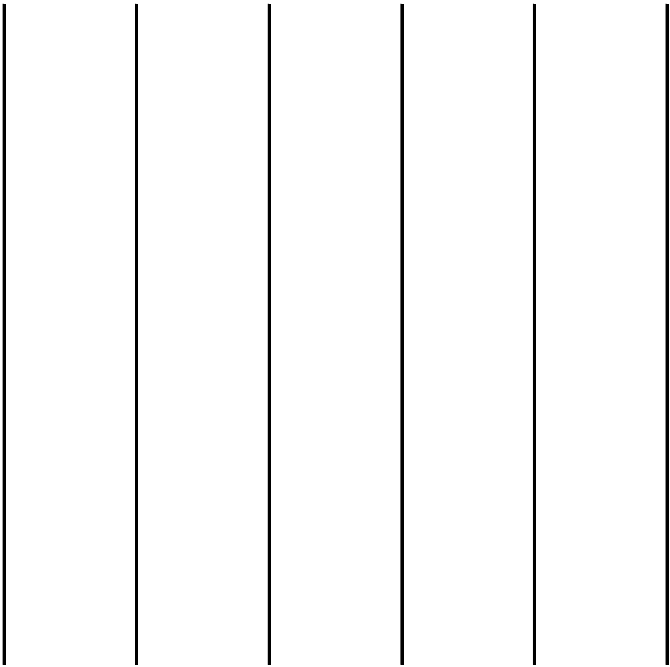
筑穂保育所 令和6年3月

1	運営管理	職員会議で連携を密に行い、飯塚市の保育理念、保育方針、保育目標を達成するように努めました。職員の資質・保育の質の向上を目指し、リモートで研修会に参加するなど、専門性を高める努力を行いました。
2	守秘義務	保護者や子どものプライバシーの保護、保育業務で知り得た情報や個人情報などの守秘義務について全職員に周知・徹底を行いました。
3	安全 危機管理	常に危機管理意識を持って、施設や遊具の点検・防災訓練・不審者訓練等を実施し事故がないように努めました。5歳児クラスは警察の方より、交通安全教室を行っていただきました。職員が常に危機管理意識を持ち安全な保育を行いました。0歳児は午睡時の体の向きや体動をセンサーと保育士とのダブルチェックで確認、記録しました。
4	保育環境	園内外の清掃を心がけ、子どもたちが健やかに生活できるように、環境を整えました。好きな遊びを十分に楽しめるよう玩具を整備し、温度、湿度、換気、採光等の環境を適切な状態に保持しました。PM2.5等の大気汚染や暑さ指数に注意するなど、年間を通して施設内外の保健的環境や、安全の確保に努めました。
5	健康 衛生管理	手洗いや消毒、換気などをこまめに行い、感染症の流行を防ぐように努めました。また、玩具や室内の消毒、密を避けるためのパーティションを利用するなど、対策を行いました。感染症発症時は各クラス前に掲示し、保護者に周知しました。
6	保育内容	「人権保育」に重点を置き一人一人を大切にしながら、発達段階に応じた保育実践をしました。子どもたちが自分で遊びを選び、安心感を持って活動できるように保育を行いました。
7	食育	食べることの楽しさ、食べ物と身体との関係や食事のマナーについて各年齢に応じた方法で知らせていきました。菜園活動を通して、食材への関心や、食べる意欲を育てました。
8	子育て支援	送迎時に子どもたちの様子を伝えるなどして保護者との対話を大切にしました。家庭における子育ての悩みを共有し、育児相談やケースに応じた援助を行い、子育てにかかわる情報を提供しました。
9	地域交流	3月に筑穂交流センターまつりに5歳児が参加します。中学生の保育体験受け入れは、感染症拡大のため、今年度は行えませんでした。散歩に出かけ地域の方々といさづつを交わすなど、小さな交流ができました。
10	苦情報告	いろいろなお意見、ご要望がありましたが、その都度真摯に受け止め、保育課にも報告・相談を行い、対応を行いました。職員会議を行い、全職員へ周知し解決のための取り組み、改善を行いました。第三者委員会に行くような相談はありませんでした。

外部評価

- ・子どもの人権を尊重した保育環境・内容について園内研修や意見交換が実施されている。実践についても放任でなく、先に問題を解決しながら取り組む様子が伺えた。視覚カードの活用もされている。保育の方向性が決まっているようで、これからさらにチームワークを大切にしたい。
- ・人権保育を主とした研修を工夫して実践し、保育の質の向上や保育士の資質向上につながり日々の保育が行われている点は表価できる。
- ・職員相互理解と連携を図り、保護者とのコミュニケーションを大切にしながら日々の運営を適正にされていることは大きな成果である。

第三者委員(高崎久代・住谷洋子)



|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

1

2

3

4

5

6

7

8

9

|

|

|

|

